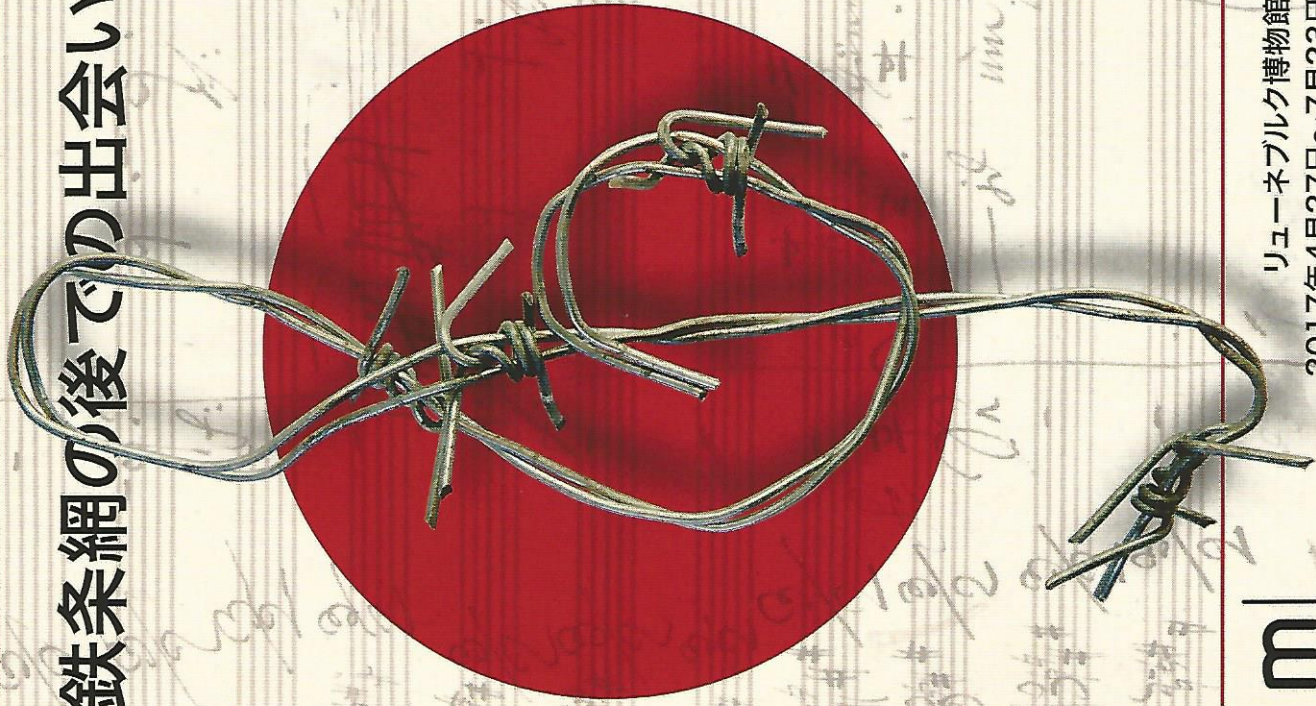


板東俘虜収容所でのドイツ捕虜達
大正六年～大正九年

鉄条網の後での出会い



m
MUSEUM
LUNEBURG

リューネブルク博物館
2017年4月27日～7月23日

鉄条網の後での出会い

板東俘虜収容所でのドイツ捕虜達
大正六年～大正九年

ベートーヴェンの第九の日本初演で有名となった、リューネブルクの姉妹都市である鳴門市にあった板東俘虜収容所。第一次世界大戦時には、およそ一千人ものドイツ兵がここに収容されました。自由な管理体制の下、多面的な文化生活が発展しました。徳島県とニーダーザクセン州の共同宣言調印十周年記念に際し、リューネブルク博物館は、今日ほとんど忘れさられてしまっている日独の歴史に焦点をあてます。

この展覧会では、ドイツ帝国主義拡大の時代を始点として、青島におけるドイツ兵捕虜達から、板東俘虜収容所での生活に至るまで、現在まで続いている「鉄条網の後での出会い」の軌跡を辿ります。



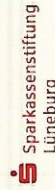
Stiftung
Niedersachsen

会期 2017年4月27日～7月23日



Niedersachsen

リューネブルク博物館
ヴァリー・プラント・シュトラッセ 1
21335 リューネブルク
ドイツ



Museumsstiftung
Lüneburg



m
MUSEUM
LUNEBURG